

(質問)

日頃からの備えは、どんなことを行えばよいですか。

(回答)

(1)我が家の耐震診断

13住宅の情報の「我が家の耐震診断チェック表」(在来木造住宅用)を使って、我が家の耐震性を確認してみましょう。(※総合評点が1.5点未満の場合は、対策が必要です。)

(2)家族で防災会議

地震は、家族が離ればなれの時に起こることもあります。ふだんから、お互いの連絡方法や避難場所を確認しておきましょう。

また、電話をつかった安否登録・確認のしかた(災害用伝言ダイヤル「171」)も身につけておきましょう。(※普通の電話が混雑(輻輳)でつながらない場合でも、緑色や灰色の公衆電話(災害時優先電話に指定)等は、比較的つながりやすい。)

(3)非常持ち出し品(災害時備蓄品)の準備

いざというときは、直ちに避難しなければなりません。そんなときに備えて、最低3日分(できれば一週間分)の非常用備蓄品(水、非常食、等)や非常持ち出し品を確保しておきましょう。(※例えば、水なら1人1日・3リットル×3日(=9リットル=2Lのミネラル・ウォーター(ペットボトル)等・約5本)×人数分(以上))

(4)地域の防災訓練や防災学習会への参加(県立防災安全センター(出前講座)の利用)

市町村や自主防災組織が行う防災訓練や防災講習会などに積極的に参加しましょう。

また、山梨県立防災安全センター(田富町今福 991、TEL055-273-1048)〈別紙参照〉では、さまざまな防災(体験)学習を行うことができます。(個人にも対応します。)

また、同センターでは、「防災出前講座」も行いますので、遠慮なく声をかけてください。

(問い合わせ先)

| | |
|--------|-------------------------|
| 連絡先 | 山梨県総務部消防防災課 |
| 担当 | 防災対策担当 |
| 電話 | 055(223)1432 |
| FAX | 055(223)1439 |
| E-Mail | shobo@pref.yamanashi.jp |